

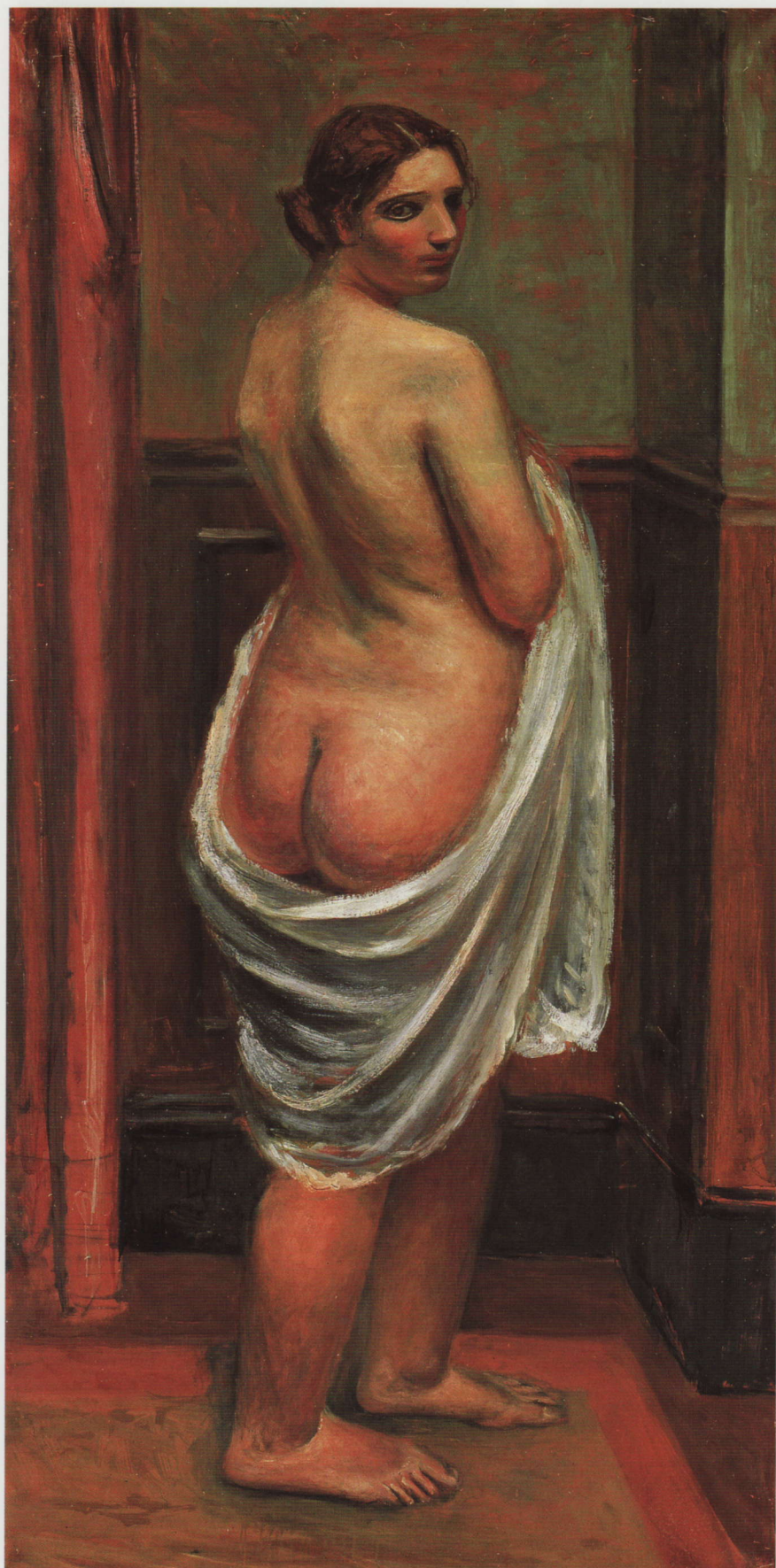
特別展

児島善三郎

日本の油彩画の創造者

一九九八年

十月六日(火)～十一月二十三日(月)



「立てるソニア」1927(昭和2)年 油彩 神奈川県立近代美術館 所蔵

開館時間

午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日

10月11日(日)、12日(月)、19日(月)、26日(月)、
11月2日(月)、4日(水)、8日(日)、9日(月)、16日(月)

入館料

一般 300円(240円) 小・中学生 100円(80円)

※()内は団体10名以上

※第二・第四土曜日は小・中学生無料

※65歳以上及び障害者は無料

講演会

10月24日(土) 午後2時～

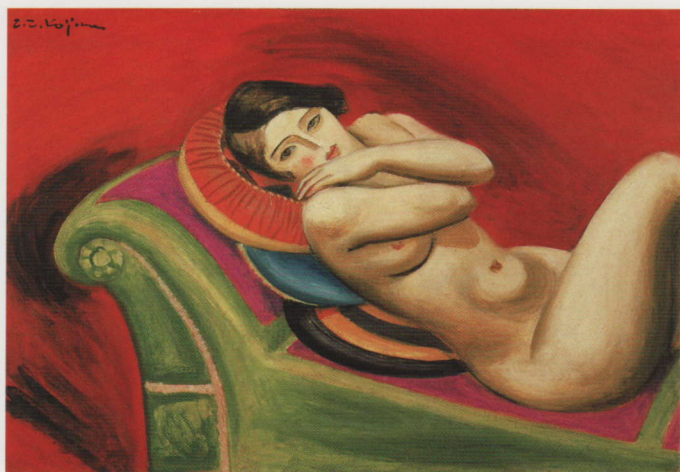
「児島善三郎 日本の油彩画の創造者」

講師 副島 三喜男氏(島根県立美術館館長)

渋谷区立松濤美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL 03-3465-9421

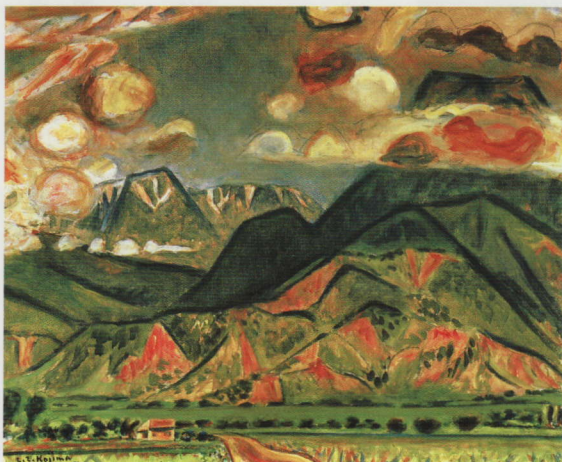
●渋谷駅下車徒歩15分 ●井の頭線神泉駅下車徒歩5分



赤い背景 1928(昭和3)年頃 油彩



風景(松) 1934(昭和9)年頃 油彩



アルプスへの道 1951(昭和26)年 油彩
東京国立近代美術館 所蔵



雪柳と海芋に波斯の壺 1956(昭和26)年 油彩
東京国立近代美術館 所蔵

児島善三郎(1893年-1962年)は福岡市の出身で、独学で絵画の道に入り、28才の時、二科美術展に初入選し、板橋や代々木にアトリエを構えて制作に励みました。1925年に欧州に留学し、当時の流行に飛びつくことなく量感あふれる裸婦など、西洋絵画の基本をふまえた作品を多数遺しました。留学中、フランス人に、日本人はあれほど素晴らしい美術、文化の伝統を持っているのに、何故、我々の真似をしようとするのか、と言われたといひます。児島は以後、日本人の資質と風土に合った独自の油絵を目指して苦闘を重ねました。

帰国後は、渋谷区代々木初台で制作を続けます。1931年には二科会を脱して、西洋の模倣ではない油絵を生み出さんと、林武、三岸好太郎らと独立美術協会を創立しました。この代々木時代(1928-1935)に続き、国分寺にアトリエを移して(1936-1951)、武蔵野の自然をはじめ日本各地の風景を数多く描き、独自のデフォルメで大胆に様式化した作品を残しました。その後の荏苒時代(1951-1962)には技法にとらわれない雄大、華麗な芸術境地をめざして更に、研鑽しましたが、闘病生活とともに身邊の花などを描いた静物画が増えてゆきます。

児島善三郎の絵画は人物、風景、静物とそのモチーフは様々ですが、画風は力強いフォルムと鮮やかな色彩が見事に調和した躍動感溢れる独自の芸術世界を示しています。彼は近代ヨーロッパ絵画を学び、それを大和絵や南画などの日本の伝統的な様式美を踏まえて再解釈し、新しい日本人の油彩画を創造して、その後の日本洋画壇の発展に大きな影響を及ぼしました。

本展は、いまなお日本の近代絵画史上で高い評価を得ている児島善三郎の約40年にわたる画業を、初期から晩年までの代表的な油彩作品約80点に彫刻、デッサン、水彩画、墨彩画、未公開の陶器や書簡などを加えて、約120余点の作品によって構成し、日本人独自の油彩画をめざして苦闘した児島芸術の足跡を辿るものです。

■映画会

10月31日[土] 午後2時～3時
NHK シルクロード
天山南路、音楽の旅
11月7日[土] 午後2時～3時
NHK シルクロード
天馬の故郷、天山北路

■美術相談

10月17日[土] 午後2時～4時
磯村敏之(油彩画)
水野道子(水彩画)
11月14日[土] 午後2時～4時
内山 懋(油彩画)
戸田康一(日本画)

案内図



●渋谷駅下車徒歩15分
●井の頭線神泉駅下車徒歩5分